



見物記



泰河

長安

貴重のまじりし色立強り
九

秋み出てふよ 是る西園

住居する僧あく我いまの都

比程一 世新思立上京は

くたのまは 捕列兵庫乃浦泰河

見えたるや 存心 八



重なる志... 船
清出く... 船
... 兵庫
... 船
... 船

急行... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

... 船

二二二
十國を兼生曰くは

東海を渡りて
東にあり

東海を渡りて

東海を渡りて

東海を渡りて

東海を渡りて

御尋よらるる

まのきくは梅又

福山人 女あり

物よき男あり

急のうら

建武年中

音付く

らふ

見ゆ終るに成人もす
今何物もつらむ
人王九十五代乃孫後醍醐の帝大勅
朝敵討たむと願ふ
知仁勇乃之徳にけんを
正成地を縁朽とす
くもくは果す

河原野の山ゆかし
大乱のあはれは
今甲斐の地乃孫
今何物もつらむ
雨雲の立ち居

うまゝん為り〜
柳

る〜事何〜
何

〜事口〜
合我のあ〜

何物終久
柳弓馬のあ〜

合我乃る終久
朝敵のあ〜

〜
君のあ〜

あ〜物〜
然あ〜我直義

あ〜
あ〜

〜
あ〜

〜
あ〜

早馬旗也〜
主と大御駈

〜
あ〜

〜
あ〜

〜
あ〜

山門入修者の常法にありては
又の官軍の乃成失ふるとも
我法部れ知にけり 敵法鼓
てさん 流
てん 婦 行 近 付
國 海 入

子 じつ 極 獄 子 ちん ちん 千 十 石
壁 城 の け 成 柳 子 成 ちん 成
中 じ 官 軍 敷 入 乃 成 死 十 乃 成
也 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成
乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成
乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成
乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成
乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成
乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成 乃 成

一々其命をてくぞ百餘騎あつて兵
庫人こそいふか
志
けわふ
いあしあしりてさなはけし
りくまるとりて波を濤河
水
しりて而從ひ名急しこの事
多利もあそく入札しりて敵
飛らちりて居ぬるに車切

かへて露をりて首をもちりて
くくくく十文字をりてちち
けとちりて秘さむりてちち
しあはれあつて騎をりてちち
のちちちちちちちちちち
てちちちちちちちちちち
たつてちちちちちちちち
危菊のちちちちちちちち

乃在勢に付一孝人後氣也
すゝな縁くまゝ子好者幸
之入花に付ちり同
枕より一孝人後氣也
しりては孝人後氣也
しりては孝人後氣也



